

# 府縣制中改正法律案外六件特別委員會議事速記録第一號

## 付託議案

- 市制中改正法律案
- 町村制中改正法律案
- 北海道會法中改正法律案
- 北海道地方費法中改正法律案
- 水利組合法中改正法律案
- 徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案

## 委員氏名

- 委員長 阪本彰之助君  
 副委員長 子爵東園 基光君  
 伯爵二荒 芳徳君  
 嘉納治五郎君  
 水野鍊太郎君  
 中村 是公君  
 小野塚喜平次君  
 男爵藤村 義朗君  
 糸原武太郎君

大正十五年三月十九日(金曜日)午後二時  
 九分開會

○委員長(阪本彰之助君) 是ヨリ特別委員會ヲ開キマス、政府委員ヨリ説明ガアリマス

○政府委員(俵孫一君) 本案ハ昨日内務大臣ヨリ大體ノ御話ガゴザイマシタカラ、重ネテ茲ニ申上ゲルモ如何カト思ヒマスガ、大臣ヨリ御話イタシマシタ如ク今回ノ改正ハ主トシテ普通選舉ノ制度ガ御承知ノ通りニ確立イタシマシタノデアリマスカラ、此普通選舉制度ノ即チ衆議院議員選舉法ニ照應シテ地方制度モ選舉權、被選舉權ノ擴張ヲスル必要ガアルト考ヘマシタ爲ニ、此改正

ヲ提案イタシマシタコトガ一ツノ理由デアリマスシ、又明年度ヨリ即チ本年ノ七月カラ郡長ヲ廢スル郡役所ヲ廢スルト云フコトニナリマシタ、其爲ニ從フテソレニ對スル所ノ此諸般ノ地方制度ヲ改正シナケレバナラヌト云フ事柄モ一ツノ理由、其外ニハ更ニ此時勢ノ進運ニ伴フテ地方ノ自治ノ擴張、是ハ府縣制市町村制ニ互リマシテ、地方制度ノ表ノ上ニ於テ地方自治ノ擴張ト云フコトガ、又今回改正ヲ致シマス所ノ必要ノ理由ノ一ツデアリマス、ソレカラ又他ノ一ツノ理由ハ今マデニ隨分時折リ改正ヲシテ居リマスガ、尙ホ前ノ改正以降ニ於テ實際ノ執務ノ上カラ致シマシテ、部分的ニ改正ヲ要シマス所ノモノガアリマスノデアリマス、之モ亦此機會ニ於キマシテ改正ヲ致シタイト云フコトニ致シマシタ譯ナンデアリマス、ソレデ未ダ全體ニ互フテ此際府縣制市町村制ノ全部ノ改正ヲ致シマスダケノモノデモアリマセヌノデアリマスガ、今回ノ改正ハ、大部分以上申シマス所ノ方面ニ於テ、或意義ニ於キマシテハ大ナル重要ナル意義ヲ有スル所ノ改正ノ部分モアルノデアリマス、デゴザイマスケレドモガ、其事項タルヤ餘リサウ多クニ互フテ居リマセヌノデアリマスカラ、ドウソ願クバ能ク御審査ヲ御願申シタイノデアリマス、是ハ御質問ニ應ジテ御答イタシマシテモ宜シウゴザイマスガ、本案ニ付テハ、御覽ノ通りニ、衆議院ニ於キマシテ數箇所ニ互フテ修正ノ箇所ガアリマスノデアリマス、是ハ御質問モゴザイマセウカラ、其際ニ於テ御答イタシマスガ、參事會ノ組織ノ變更、或ハ市長町

村長ノ選舉ノ手續ニ於テ市長ノ御裁可、町村長ノ府縣知事ノ認可、斯ウ云フモノヲ廢メテ仕舞フ、市會、町村會ニ於テ選舉ヲ致シマスレバ直チニソレデ效力ヲ生ズルト云フコトニ致シマシタ、其他一二箇所ノ改正モアリマス、是モ併セテ簡單ナガラ御承知ヲ：：ドウソ御審議アラムコトヲ願ヒマス

○委員長(阪本彰之助君) 御質問アリマセヌカ：：是ハドウ致シマセウカ、御質問ハ矢張り府縣制、市制町村制ト三ツニ切ツテ致シマセウカ、或ハ合體シテ致シマセウカ、御異存ガゴザイマセヌケレバ便宜上府縣制ハ府縣制ダケニシテ御質問ガアリ、勿論關聯シテ御尋ニナルノハ差支アリマセヌガ、大體ニ於テ：：一制毎ニ四ツ：：北海道ガモウ一ツ外ニゴザイマスガ、其モノ毎ニ御質問ヲナサルコトニ致シタイト思ヒマス

○子爵東園基光君 唯今次官ヨリ大體提出ノ理由ヲ承リマシタノデアリマスガ、此府縣制中改正法律案ハ衆議院デ修正サレテ居リマスガ、之ニ付キマシテ極ク簡單デ宜シウゴザイマスガ、政府ノ御意見ヲ承テ置キタイト思ヒマス

○政府委員(俵孫一君) 衆議院デ修正イタシマシタ府縣制ニ關シマスルコトハ參事會ノ組織變更デアリマス、參事會ノ組織デアリマスルガ、是ハ御覽ノ通りニ參事會員ノ府縣ノ高等官ノ官吏ノ會員二名ヲ削リ、知事ノ議長タルコトハ前ノ通りデアリマスガ、之ニ議決權ヲ與ヘナイデ採決權ノミヲ與ヘルコトニ致シマシタ、從ヒマシテ參事會員數ハ知事一名、府縣高等官二名ヲ廢メ

タ其代リトシテ併セテ三名ヲ廢メテ、三名ヲ増員ヲスル、其三名ハ即チ名譽職參事會ヲ三名デアリマス、總計ノ員數ハ矢張り十名ニナリマスガ、府縣會ニ於テ選任スル所ノ參事會員ノ數ヲ増シテ、其數ヲ増シタ爲ニ一方ヲ減ジタ、言葉ハドツテ言フテモ同ジコトデ、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、此衆議院ノ修正イタシマシタ所ノ理由ハ最早今日ニ於テハ府縣高等官ノ參事會員ト云フモノハ置ク必要ハナカラウ、ノミナラズ或ル場合ニ於テハ之ガ爲ニ非常ニ其名譽職參事會員ノ意見ヲ全ク抑壓ト云フ言葉ハ適當デアリマセヌガ、尊重シナイヤウナ結果ニ陥ル、例ヘバ五名ノ名譽職參事會員ガ出タ場合ニ於テ、一名ガ政府ノ原案ニ贊成ヲシタ、後ト殘リガ四名ガ政府ノ原案ニ反對ト云フ場合ガアツタ時ニ、詰リ一名ノ參事會員ト、更ニ官吏參事會員ノ三名合セテ四名、其四名ガ原案ニ贊成ヲスルト云フコトニナツテ來ルト、詰リ可否同數ニナル、從テ一面ニ於テ議決權ト、他面ニ於テハ採決權ヲ持ツカラシテ、詰リ其結果ハ知事ノ採決權ニ依ッテ原案ガ成立ツト云フコトニナル、即チ府縣會カラ出タ所ノ議員ハ五名ノ中四名ガ反對デアアルノニ拘ラズ原案ヲ成立セシメタコトニナルガ、是等ハ誠ニ不合理ダ、斯ウ云フ風ナコトハ今日民意ヲ尊重スルト云フ意味ニ於テ甚ダ面白クナイ、斯ウ云フ風ナ工合デ議論ガ交換サレテ居タノデアリマス、勿論此府縣參事會員ノ中ニ官吏參事會員トナルモノハ、參事會ノ性質ガ御承知ノ通りニ、是ハモウサウウシク議論ヲスルト云フコトヨリモ、極ク懇談的ニ府縣ノ參事會内ノ議事ヲ進メルト云フコト

ニアルノデ、今衆議院ノ此ノ提案者ノ理由トシテ申シタサウ云フ風ナ場合ハナイトハ言ヘマセヌケレドモ、極ク稀ニシカナイ例デア  
ルノデ、之ヲ以テ直チニ官吏參事會員ヲ全ク廢メテ任舞フ理由トシテハ、サウ取ル  
ニ足ル理由トモ政府モ考ヘマセヌガ、又官吏參事會員ナルモノハ今申シタヤウナ懇談  
的ニ、極ク參事會ノ中ノ議事ヲ懇談的ニ進メマスト云フコトノ外ニ、矢張り此官吏出  
身ノ參事會員ノアルト云フコトガ、極ク滑  
カニ議事ノ進行ヲスル上ニ於テ都合ガ宜イ、  
況ンヤ又御承知ノ通りニ是ハ其府縣參事會  
員ニハ訴願ノ採決權ガアリマスノデ、ソ  
ナコトノ爲ニ矢張り府縣官吏ノ出身參事會  
員ガアルコトヲ必要トスルト云フコトガ如キ  
爲ニアリマスノデ、之ニ對シテ今以上申シ  
マスル衆議院ニ於テハサウ云フ風ナ工合ノ  
見地カラ之ヲ廢メタイト云フ風ナコトモ修  
正意見ガアッタノデアリマス、之ニ對シテ  
政府ハ今此官吏參事會員ノ必要デアルト云  
フ理由ノ一ツトシテ今申上ゲタコトモアル  
ノデアリマスシ、一體ニ府縣會カラ出タ所  
ノ參事會員ト官吏カラ出身シタ所ノ參事會  
員ガドウカ懇談的ニ膝突キ合シテ能ク圓滑  
ニ熟談シテ事ヲ議スルト云ウタ如キコトガ  
最も適當ナコト、ハ考ヘマスルガ、併ナガラ  
サウ云フ風ナ工合ノ意見ガアルニ對シテ強  
ヒテ：此官吏參事會員ヲ廢メテ衆議院ノ  
如ク修正シタカラト云フテ、尙ホソレハ不  
都合ナコトデアルトハ實ハ考ヘナイノデア  
リマス、言ヒ換ヘレバ衆議院ノ修正ハサウ  
大シタ問題デアリマセヌノデ、斯ウナリマ  
シテモ差支ガナイト云フ程度ノモノデアリ  
マスルカラ、斯ノ如ク衆議院ガ決議イタシ  
マシタ以上政府ハ是ニ對シテ強イテ反對ハ  
シナイ、此衆議院ノ決議シタ通り貴族院ニ  
於テ御認メニナル以上ハ政府ハ是ヲ相當ニ

實行スルト云フニ付テ別ニ反對ハ致サマコ  
トニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラシ  
テ次ニ修正ノ簡條ハ是ハ小サイモノデアリ  
マスガ、第三十二條ノ一項トアリマス、  
其二項ノ「前條」トアリマスノヲ「第三十一  
條」ト文字ヲ書改メル、是ハ文字上ノ修正デ  
スガ、次ニ此選舉權ノ問題ニ付テ請負人ハ  
政府原案ハ全ク選舉權ハナイコトニ致シマ  
シタガ、是ハ御覽ノ通り衆議院選舉法ニ於  
テハ、以前ノ規定デハ請負人ニハ選舉權ヲ  
與ヘテナカッタ、缺格條項ニナツテ居リマシ  
タガ、今回衆議院選舉法ニハ是ハ缺格條項  
ニシナカッタノデアリマス、ソレト同様ニ  
矢張り地方制度ニ於テモ、請負人ハ矢張り  
缺格條項トセズ、選舉權ヲ與ヘテモ差支ナ  
イザヤナイカ、斯ウ云フ議論ガ餘程衆議院  
ノ委員會ニ於テアッタノデアリマス、結局  
唯今ノ所被選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ甚  
ダ事實ニ於テ不都合デアアル、ソレ故請負人  
デアル者ハ被選舉權ハ：即チ選舉セシメ  
テモ差支ナイ、候補者トナツテモ差支ナイ、  
當選ノ曉ニ於テ其者ハ請負ヲ爲スコトヲ得  
ズ、矢張り其府縣市町村ノ官吏更ガ、  
以前缺格條項ニ該當スル一人デアッタモノ  
ガ、今度改正イタシテ候補者トナリ選舉セ  
ラレテモ宜イガ、當選ヲ承諾シタ場合ニ於  
テドチラカ一方ヲ選バナケレバナラス、所  
謂兼職ヲ禁ズル所ノ規定ガアリマス、其規  
定ト同様ニ其府縣ノ工事ヲ請負テ居ル請  
負人ハ候補者ニナリ當選セラレテモ：選  
舉セラレテモ差支ナイガ、其承諾シタ曉ニ  
於テ其請負ヲヤメルカシナケレバナラス、  
ト云フコト、即チ相兼ルコトヲ得セシメナ  
イコトニスルト云フ、衆議院ニ於テ修正ガ  
アッタノデアリマス、是ハ政府ニ於テ、政  
府ノ趣意モ斯ノ如クシテモ毫モ妨ゲガアリ  
マセヌカラ、此衆議院ノ修正ニ同意ヲシタ

ノデアリマス、此三點ガ府縣制ニ於ケル所  
ノ衆議院ノ修正デアリマシテ、政府ノ是ニ  
同意ヲ致シテ趣意ハ大體申上ゲタヤウナ次  
第デアリマス  
○男爵藤村義朗君 一般ノ事項デ質問イタ  
シテ差支ゴザイマセヌカ  
○委員長(阪本杉之助君) 宜シウゴザイマ  
ス  
○男爵藤村義朗君 先程ノ政府委員ノ御説  
明ニ依ルト、今回ノ改正ハ普通選舉法改正  
ノ結果、ソレカラ郡役所廢止ノ結果カラ參  
タ改正ノヤウニ承テ居ルノデアリマスガ、  
衆議院ノ修正ニ依リマスルト、此一一般ノ府  
縣會、市町村會等ノ權限組織ト云フコトニ  
モ互テノ改正ガアッタヤウデアアル、私ハ能  
ク此コトハ見テモ居リマセヌケレドモ、若  
シ組織權限ニ互テ、總テノコトニ關シテ改  
正ヲスルト云フヤウナコトデアレバ中ニ是  
ハ一朝一夕ニ審議ハムツカシカラウト思フ、  
政府ノ御趣旨ハドウ云フ風ニアルノデスカ  
今申シタ普通選舉法ノ實行及郡役所ノ廢止  
カラ起ル結果トシテノ改正ノヤウニ私ハ了  
解シテ居ッタノデスカ、ソウデナイノデスカ、  
或ハ一般的ノ改正ヲヤラウト云フ御積リデ  
アリマスカ  
○政府委員(依孫一君) 政府ノ今回提案シ  
マシタ趣意ニ付テハ丁度今御述ベノ如ク、  
衆議院議員選舉法改正デ選舉權被選舉權ノ  
權利ノ擴張ハ餘程行ハレテ居ルト思ヒマス  
カラ、ソレト相應ヲシマスル爲ニ、地方制  
度ニ於ケル各種ノ選舉ノ場合ニ於ケル選舉  
權被選舉權ニ付テモ、衆議院議員ノ選舉ノ  
場合ト同様ニ、或ル程度マデ權利ヲ擴張スル  
必要ガアルト云フ理由ト、郡役所廢止ノ理  
由ト、ソレカラ尙ホ其外ニ矢張り此自治權  
ノ擴張、地方自治ノ擴張、權限ノ擴張ト云  
フコトモ致シタイノデアリマス、御承知ノ

通りソレハ程度ガイロ、アリマスカラ政  
府ハ此原案ニ書イテアリマス程度デ、其點  
ニ於ケル所ノ擴張ガ宜カラウト云フコトニ  
認メテ原案ヲ作ッタノデアリマスガ、免モ  
角モ地方自治ノ權限擴張ト云フコトモ又  
ツノ理由ニナリマス、其他ハ先刻申シマシ  
タヤウニ事務ノ取扱上ニ於テ其コトニ付テ  
ノ改正ヲ致シマシタノデアリマス、ソレデ  
私ハ唯今藤村男爵ノ御話ノ如ク衆議院ガ參  
事會員ノ權限ノ改正ニ付テ修正ヲ加ヘタニ  
付テハ政府ノ目的ガ地方自治ノ權限ノ擴張  
ニ毫モ提案ノ理由ガナカッタト云フコトニ  
ハ考ヘテ居リマセヌ、ソレモ矢張り提案ノ  
理由ノ一ツデアリマスカラ參事會員ノ組織  
性質ガ政府提案ノ理由トハ矛盾シタトハ考  
ヘテ居リマセヌ  
○男爵藤村義朗君 自治團體ノ擴張ト云フ  
コトニ付テ政府ノ御意見ヲナヨト伺フテ見  
タイノデスカ、大都市ノ如キ市會ガ往々ニ  
シテ橫暴ナコトヲヤル、非常ニ市長其他市  
役所ニ向テ壓迫ヲ加ヘルト云フ事實ガ往々  
アルヤウニ思ハレマス、其矯正策トシテ  
市長ニ市會ノ解散權ヲ與ヘタラドウト云  
フ説ガ大分アル、自治權ノ擴張ト云フ上カ  
ラ見マスト市長ニ對シテ其位ノ權限ヲ與ヘ  
テ宜カラウト思フガドウデスカ  
○政府委員(依孫一君) 唯今藤村男爵ノ御  
指摘ノ事實ハアリマスノデ、誠ニ大都市ニ  
於ケル所ノ市會ノ狀態ハ誠ニ憂慮シテ居  
ルノデアリマスガ、是ニ對シテ矯正スル方  
法トシテ必ズシモ市長ニ解散權ヲ與ヘマセ  
ヌデモ、是ハ現行法ニ於キマシテモ、既ニ  
內務大臣ニ解散權ガアリマスノデスカラ、  
此內務大臣ニアル解散權ノ發動ハ市長ガ其  
意見ヲ內務大臣ニ申出デル、其申出タ意見  
ニ依ッテ內務大臣ハ之ヲ發動スルコトモ出  
來得ルノデアリマス、勿論內務大臣ガ監督

上、市長ノ意見ニ拘ラズ解散權ヲ執行スル  
コトモアリマスガ、市長ノ意見ニ基イテヤ  
ル場合モアリマスカラ、必ズシモ市長其モ  
ノニ解散權ヲ與ヘルト云フコトニ付テ、特  
ニ其必要ヲ認メテ居リマセヌノデアリマ  
ス、事實ハ差支ヘナイト思ヒマス

○男爵藤村義朗君 矢張り市長ガ直接ニ解  
散權ヲ有ツ、ソレハ内務大臣ノ認可ヲ得テ  
ト云フ條件ハ必要カモ知レマセヌ、即チ政  
府ガ議會ヲ解散スルノニ、上奏シテ解散ヲ  
行フト云フノト同ジ理窟デ、免ニ角市長其  
モノガ直接ニ解散權ヲ有テ居ラヌト云フ  
コトハ、餘程其市長ノ權限ヲ弱メルト云フ  
風ニ考ヘラレル、從テ政府ノ思召ノ自治權ノ  
擴張ト云フコトニ付テハ矢張りサウ云フ  
所モ御考慮セヌケレバナラヌト思ヒマスデ  
スガ、ドウ云フモノデスカ

○政府委員(俵孫一君) ソレハ市長其人ニ  
一種ノ權威ヲ與ヘルト云フ意味ニ於テハ市  
長其モノニ解散權ガアルコトハ御説ノ通り  
ニ非常ニ必要ナコトデアルガ、他ノ一面カラ  
見マス、市長ガ自己ノ權限ヲ振テ解散  
セムトスルト云フコトハ、又市會ノ、議決  
機關タル其議事ヲ圓滿ニ行フト云フ點ニ於  
テ、又缺點ガアリハセヌカト思フノデアリ  
マス、勿論物ニハ一利一害ガアリマスカラ、  
其利ノアル所ガ重且ツ大デアルナラバ無論  
差支ハナイコトデアリマスガ、政府ノ見ル  
所ハ成ル程監督上ハ内務大臣ノ認可ヲ受ケレ  
バソレデ宜シイノデアリマスカラ、ソレデ事  
實ハ市長ニ解散權ヲ與ヘテモ、其點ニ於テハ  
差支ハアリマスマイガ、他ノ點カラ申シマ  
スト、詰リ市長ニ對シテ解散ヲセラレタガ  
爲ニ、其市民若クハ後ニ出來ル所ノ市會ト  
云フモノガ甚ダシク感情ヲ害シテ、感情上カ  
ラシテ議事ノ進行ノ圓滿ヲ缺クト云フガ如  
キコトガアルト、又一方ニ缺點モ無キニシ

モ非ズト思フノデアリマス、矢張り現行法  
通りニ内務大臣ニ解散權ガアルト致シマシ  
テ、藤村男爵ノ御心配ノ市會ノ專恣若クハ  
市會ノ不都合ト云フモノヲ矯正スルト云フ  
途ハ立チマスカラ、現行法デ差支ヘナイト  
思ヒテ居リマス

○男爵藤村義朗君 唯今ノ點ニ矢張り關聯  
シテ居ルノデスカ、此ノ大都市ノ自治權ノ  
擴張ヲ認ムルト云フコトカラ、マア大都市  
ハ、此ノ市ノ治安秩序ヲ維持スルト云フ點  
カラ見マスト云フト、市長ニ警察權ヲ有タ  
セルト云フコトモ一ツノ方法デハナカラウ  
カ、市ニ警察權ナクシテ市ノ治安維持ト云  
フモノハ私ハ出來マイト思フ、此點ニ付テ  
政府ハドウ云フ御考デアリマスカ

○政府委員(俵孫一君) 市長ニ治安ノ警察  
權ヲ有タセルト云フコトニ付テハ餘程問題  
デハナイカト思ヒマス、自治機關タル市長  
ニ或警察權ヲ付與スルト云フコトニ付キマ  
シテハ、是ハ必要ト思ヒマスノデ、例ヘバ  
衛生警察、モウ一ツ進んで申シマス、交  
通警察スウ云フ風ナモノハ、或ハ自治機關  
ニ、即チ市長ニ或ル制限ノ警察權ヲ有タ  
セルト云フコトハ、是ハ適當カト思ヒマ  
ス、是ニ付テハ相當内務省ニ於キマシテモ  
調査ハシテ居リマスノデアリマス、マダ其  
コトニ關スル意見ヲ定メマシテ議會ノ協賛  
ヲ仰ギマス程度ニハ達シテ居リマセヌガ、  
相當内務省ニ於テ其問題ハ研究ヲシテ居ル  
ノデアリマス、唯其今申シマス所ノ保安ノ  
警察、是ハドウモ自治機關、即チ市長ニ與  
ヘルト云フコトハ如何デゴザイマセウカ、  
何レモ併ナガラ研究、考究ハシテ居ルノデ  
アリマス

フコトハ、是ハ俵君モ御承知ノコトデアラ  
ウト思ヒマス、勿論私ハ、現内閣ガサウ云  
フコトヲシテ居ルト申ス譯デハナイノデス  
ケレドモ、免ニ角政黨ノ弊ト云フモノガ大  
變ニ相當此自治團體ニ這入ッテ居ル、今度  
ノ御改正デ其弊ヲ御認メニナッテ之ヲ矯正  
スルト云フヤウナ何カ條項ガスルンデゴザ  
イマセウカ、ソコヲチヨット何テ置キタイ  
ノデスカ...

○政府委員(俵孫一君) 地方自治ニ政黨ノ  
弊害ガ浸潤シテ居ルコトハ、洵ニ御同感デ  
アリマシテ、私共モ多年地方行政ニ携ッテ  
居ル所ノ者ハ、親シク其弊害ヲ認メテ居リ  
マスシ、又苦シンデ居リマス、居リマスノ  
デアリマスガ、今回ノ改正ハ其コトニ關シ  
テ特別ニ斯ウ云フコトニスル、ア、云フコ  
トニスルト云フ條文ノ改正案ハアリマセ  
ヌ、蓋シ府縣會ノ決議、若クハ市會町村會  
ノ決議ガ黨爭ノ弊害ヲ混入イタシマシテ、  
不都合ナル行動ヲ執ル、不都合ナル決議ヲ  
シマスレバ、現行法ノ監督規定ヲ以テ如何  
ヤウニモ出來マヌノデアリマス、即チ不法  
決議ニ對シテハ之ヲ矯正スル途モアリマス  
シ、即チ原案執行ノ規定モアリマスシ、又  
取消ノ規定モアリマス、現在備ヘテ居ル  
所ノ監督規定ヲ以テ、如何ヤウニモ弊害ノ  
矯正ハ出來得ルノデアリマス、然ラバ何故  
其事實ガアルカト申シマス、是ハ私ハド  
ノ政府、ドノ政黨トハ申シマセヌガ、其監  
督規定ヲ詰リ實行イタサヌノデアリマス、  
ソコデ從來ノ弊害、政黨一ノ弊害ノ浸潤ニ  
付テハ洵ニ我々モ見テ居リマスシ、又世間  
モ多ク之ニ對シテハ痛嘆シテ居リマスノデ  
スカラ、要ハ制度ニ非ズシテ其人ニ在ルノ  
デアリマス、其政府其府縣知事ガ適當ナル  
人ガアリマスカラ、私ハ從來ノ地方ノ狀  
況ニ當リ、政黨ノ弊害ノ浸潤シタコトニ付

キマシテハ、立派ニ矯正ノ途ガ嚴存シテ居  
ルト思フノデアリマス、之ヲセザルモノハ、  
今申シマス通りニ政黨ノ弊害デアリマス、  
是ハ地方制度ノ弊害デアルガ、モウ一步進  
ンデ申シマス、國政ノ弊害ト私ハ見テ居  
マス、今回ノ改正ハ其點ニ於テハ何ラ觸レ  
テ居リマセヌ

○子爵東園基光君 私人御伺ヒシタイノ  
ハ、直接ニハ觸レテ居リマセヌガ、現行市  
制並ニ又改正案等ニ考ヘマシテモ、豫テ政府  
ニ於カレマシテ、數代前ヨリ御研究ニナ  
テ居リマス、所謂都制案ト云フ法ニ付キマ  
シテノ目下ノ御考究ノ進行狀態、又茲ニ現  
ハレテ居リマス從來ノ現行法及改正案ニモ  
出テ居リマスガ、茲ニ所謂市長或ハ參事、  
助役或ハ候リニ將來都制案ガ出マシタ曉ニ  
多少此市制ニ基礎ノ變動ガ起ルコトデアリマ  
スカ、サウ云フコトハ都制ヲ除イテ他ノ市  
ニ施行セラレルモノトシテ、現行法ノ殘リ  
部分ヲ御覽ニナッテ居ルノデゴザイマスカ

○政府委員(俵孫一君) 都制ニ付キマシテ  
ハ丁度今東園子爵ノ仰セノ通り、多年ノ間  
内務省デ研究サレテ居リマス、殊ニ又此前  
ノ政府以來研究シテ目下其都制法案ハ内務  
省ノ手ヲ離レテ、今法制局ニ審議サレテ居  
ルノデアリマス、是ハ本會ニ於キマシテモ、  
内務大臣ヨリ質問ニ答辯サレタノデアリマ  
スルガ、即チ政府ハ此議會ニ提案スル積リ  
デ審議ヲ急イデ居リマス、ソコデ今回提案  
ノ市制町村制ノ修正ニ於テ、都制ノ成立ノ  
曉ヲ豫期シテ居ルカドウカト云フコトヲ御  
尋デアリマスケレドモ、是ハ無論都制案ガ  
成立シマシタトテモ、更ニ現行及修正ノ市  
制町村制ニ對シテ影響ハ全ク無イ積リテ居  
リマス、即チ都制ノ區域ニ付テハ東京府ノ  
管轄ノ全部ヲ都制ノ區域ニスルト云フコト  
ニナッテ居リマス、併シ是ハ後日更ニ法制

局ニ於キマシテ審議サレマシテ、愈々議會ニ提案シマス場合ニ於テ、如何ニ變更サルカト云フコトハ勿論不明デアリマス、其東京府ノ區域ニ都制ヲ敷クト云フコトニ致シマシタ時ニ、然ラバ此區域内ニ市町村例ヘバ東京市ハ別ト致シマシテ、其以外ノ市町村ニ付テハ、如何ナル制度ヲ敷クカト云フコトニナリマスルト自然都制ノ中ニ都ノ區域内ニ於ケル所ノ市、若クハ町村ト云フモノニ對シテ、矢張り市制町村制ヲ敷クト云フヤウナ規定ガ出來ルデアラウト思フ、隨テ其方デ相當適用ガ出來能ハザルモノハ、特例ヲ設ケルデアリマセウガ、一般ノ市制町村制ニハ、何ノ影響ハ無イ積リデアリマス

○子爵東園基光君 尙テヨト簡單ニ……其改正案ハ名譽職參事會員ノ此交代期ガ御改正ニナッテ居リマス、先頃モテヨト多分理由ヲ伺ヒマシテ、現在ノ狀況ガ勿論餘リ宜クナイヤウニ感ジテ居リマスガ、隔年ト致シマシテハ要シマスルニ、四年間ト云フコトモ甚ダ無理窟ノコトニナリマスシ、毎年ト云フコトハ甚ダ其期毎ニ選舉ノ煩雜ヲ起スト云フ、言ハハ稍、中間ト云フヤウナ御考デ二年ト云フ意味デ隔年ト云フコトニナリマシタカ、何カ他ニ特別ノ理由デアルノデスカ

○政府委員(俵孫一君) 此參事會ノ年限ハ深キ意義ハ改正ノ理由ニハアリマセヌデスガ、丁度今御指摘ノ如ク會テ四箇年ノ時代ニ於キマシテハ此四箇年間ニ參事會員ノ地位ニ付テ甚シキ爭奪ガ行ハレマシタ、殆ド弊害ニ堪ヘザルカノ如ク、之ガ爲ニ府縣會ノ紛爭ヲ惹起スガ如キコトガゴザイマシタ、此事實ハドウカト申シマスルト、四ヶ年デ其爭奪ノ紛爭ノ結果トシテ實ハ内々府縣會議員ノ間ニ交代ノ内約ガアリマシテ、四ヶ年間ニ參事會員ハ任意辭職ヲシ他

ノ人ガ代テ居ラタ如キ一種ノ妙ナ弊害ヲ生ジテ居ラタリシマシタ爲ニ、是デハ到底イカヌト云フコトデ、之ヲ一ヶ年ノ任期ニ改正ヲシタコトハ御承知ノ通りデゴザイマス、然ルニ、一ヶ年ニ致シマシタ處ガ、其今ノ爭奪ノ點ニ於テハ都合好ク矯正ガ出來マシタガ、一ヶ年參事會員ヲヤッテ居ラテ稍參事會員トシテ參事會ノ事務ニ練熟シタ思フト、直グニ又代ル、サウ致シマスルト云フト、參事會ニ府縣會議員ノ互選デ、府縣會ノ委任事項モアリマスシ、其他參事會トシテノ特別ノ權限モアリマスシ、是ノ權限ニ折角慣レテ居ル者ガ直グ代テ他ノ人ガ來ル、參事會ノ議事ノ進行上、甚ダ不便ニナリマス、是ハ一ツノ弊ヲ避ケ得タガ、他ノ弊ヲ生ジタノデアリマス、是デハ到底イカヌ、ト云フコトヲ以テマシテ、今度ハ二ヶ年ニ致シマシタ、即チ四年デハイカヌ、又一ヶ年デモ亦イケナイ、此ノ如キ二ツノ經驗カラ是デハイカヌ、アレデハイカヌト云フコトカラ、結局其中間タル二ヶ年デアレバ、四ヶ年間ノ縣會議員ガ是ガ二度交代ガ出來ル上云フコトニナリマスレバ、爭奪ノ點ニ於キマシテ稍、緩和ヲスルシ又屢、代テ議事ノ進行上缺陷ヲ生ズルコトモ亦緩和シ得ルト云フコトデ以テ、先ヅ二ヶ年ニシヤウト云フコトデ二ヶ年ニ修正イタシマシタ譯デゴザイマス

○子爵東園基光君 此府縣ノ吏員ノ待遇ト申シマスルカ、或ハ地位ト申シマスルカ、ト云フモノハ、常ニ私ハ長ラク何か良イ方法ノ御案出ハ出來ヌモノカト感ジテ居リマスガ、今回改正案ニ於テ斯ウ云フコトニ何等觸レテ居リマセヌカ、……ソレハ斯ウ云フ意味デアリマス、東京ニハ御承知ノ通り市ニ參與ト云フ者ガゴザイマスカラ、相當立派ナ經驗ノ有ラレル、社會上又其他ノ方

○政府委員(俵孫一君) 此市町村公吏ニ付テハ御案内ノ通りニ敘位敘動ト云フタ如キヤリ方ガアリマスルガ、是モ御承知ノ通りニ非常ニ年限ガ長ク勤續セヌケレバ、サウ云フ風ナ恩典ニ與ラナイノデアリマス、之ニ付テハ相當優遇ノ途ヲ講ズルヤウニト云フ、今日ニ於キマシテモ衆議院ニ於テ附帶希望決議ガアリマシタノデアリマス、從來市町村吏員ニ付テ其優遇ノ途ニ付テノ方法ハ是ハ多年ノ問題デモアリマスシ、又研究モサレテ居リマスルガ、ドウモ適當ナ方法ガナイノデアリマス、併シ今回衆議院ニ於テ附帶決議ガアリマシタ以上、相當考慮研究ヲ遂ゲル積リデアリマスルガ、中ニ是ハ困難デアリマス、唯或ハ敘位敘動ノ年限ヲ短縮スル、又或ハ階級ヲモツト上ゲルト云フタ如キコトハ、是ハマア御詮議ノ如何ハ別ト致シマシテ方法ハナイコトハアリマセヌガ、又敘位敘動以外ノ方法ニ於テ市町村吏員ノ優遇ト云フコトハ、非常ニ困難デアリマスガ、今申ス通り研究ハ致ス積リデアリマス、御尋ノ府縣吏員、是ハモウ中ニ其優遇ノ方法ニ付テハ其方法ニ苦シムノデアリマス、或ハ仰セノ如ク何か府縣ノ公益事業トカ、其事業ノ首腦者、若クハ其重要ナル位置ニ據ヘルト云フタ如キコトモ宜カラウト思ヒマスシマスガ、實ハ是ハ多年ノ問題デアリ、多年研究サレテ居リマスル問題タケニ、中ニ名案ガアリマセヌ、寧ロ名案ガアルナラバ御示シテ願ヘバ、仰セノコトニ付テ研究ヲ致シマスガ、今回ノ提案ニハ其問題ニ觸レテ居リマセヌ、又目下内務省ニ於テ今ノ御趣意ニ基イタ名案ヲ實ハ有シマセヌ

○子爵東園基光君 是モテヨト此條項ニ直接シマセヌヤウナ御尋ネデゴザイマスルガ、段々兼テ現内閣ノ御方針デアリ、市町村ノ自治ノ權ヲ擴張セラレ、相當市町村長等ニモ立派ナ人間ヲ追々入レルヤウナ

○政府委員(俵孫一君) 此市町村公吏ニ付テハ御案内ノ通りニ敘位敘動ト云フタ如キヤリ方ガアリマスルガ、是モ御承知ノ通りニ非常ニ年限ガ長ク勤續セヌケレバ、サウ云フ風ナ恩典ニ與ラナイノデアリマス、之ニ付テハ相當優遇ノ途ヲ講ズルヤウニト云フ、今日ニ於キマシテモ衆議院ニ於テ附帶希望決議ガアリマシタノデアリマス、從來市町村吏員ニ付テ其優遇ノ途ニ付テノ方法ハ是ハ多年ノ問題デモアリマスシ、又研究モサレテ居リマスルガ、ドウモ適當ナ方法ガナイノデアリマス、併シ今回衆議院ニ於テ附帶決議ガアリマシタ以上、相當考慮研究ヲ遂ゲル積リデアリマスルガ、中ニ是ハ困難デアリマス、唯或ハ敘位敘動ノ年限ヲ短縮スル、又或ハ階級ヲモツト上ゲルト云フタ如キコトハ、是ハマア御詮議ノ如何ハ別ト致シマシテ方法ハナイコトハアリマセヌガ、又敘位敘動以外ノ方法ニ於テ市町村吏員ノ優遇ト云フコトハ、非常ニ困難デアリマスガ、今申ス通り研究ハ致ス積リデアリマス、御尋ノ府縣吏員、是ハモウ中ニ其優遇ノ方法ニ付テハ其方法ニ苦シムノデアリマス、或ハ仰セノ如ク何か府縣ノ公益事業トカ、其事業ノ首腦者、若クハ其重要ナル位置ニ據ヘルト云フタ如キコトモ宜カラウト思ヒマスシマスガ、實ハ是ハ多年ノ問題デアリ、多年研究サレテ居リマスル問題タケニ、中ニ名案ガアリマセヌ、寧ロ名案ガアルナラバ御示シテ願ヘバ、仰セノコトニ付テ研究ヲ致シマスガ、今回ノ提案ニハ其問題ニ觸レテ居リマセヌ、又目下内務省ニ於テ今ノ御趣意ニ基イタ名案ヲ實ハ有シマセヌ

道ヲ開キニナルト云フ御方針ノコトモ承知シテ居リマス、町村ノ方ノ事務、所謂地方自治等ニ付キマシテ何カ此他ノ事業ニ關聯イタシテ居リマスルト、色々或ハ藍綬褒章デアリマストカ色々ノ優遇ノ途ガアリマスノデアリマスガ、町村ノ事務ノ最モ中心ニナル町村自治體ノ事務ヲ爲シテ、多年成績ヲ舉ゲタヤウナ者ニ對スル優遇ハ國家ガソレヲ認メテ、サウシテ自治ノ發達ヲ促ス必要ガアルノニ拘ラズ其例ハ甚ダ少イ、實例ヲ申シマスト餘程以前カラ行ハレテ居リマスガ、町村長ガ長年勤績イタシマシタ者ハ或ハ勳八等ニナルトカ勳七等ニナルトカ云フコトニナル、是ハ固ヨリ國家ノ恩典デアリマシテ名譽ニハ相違アリマセヌケレドモ、其町村役場ノ受附ヲシテ居ル小使ノヤウナ者デモ陸軍ノ一等卒カ二等卒デ七等カ八等モアル、斯ウ云フヤウナ譯デ、極端ニ申シマスと却テ町村自治ノ爲ニ町村長ノ名譽ヲ表彰スルノデナクテ、反對ノ感情ヲ起サセル結果ヲ生ズルノデアリマス、是ハ甚ダ遺憾デアリマス、我々ハ既ニ何カ實業功勞者ニ對スル藍綬褒章ノ如キ實ニ金錢ヲ以テ購ヒ得ザルモノデ、金鷄勳章ノ如ク年金ト云フガ如キモノハ却テイカヌ、神聖ナ町村事務ニ熱心從事シテ特ニ自治ノ功勞者ト云ヒ得ル者ハ斯クノ名譽章ヲ受クト云フヤウナコトナドハ内務省トシテモ將來ノ爲ニ御考ヘニナッテハ如何デアリマスカ、如何ニ昨今唯物主義經濟主義トナッテ申シマシテモ、マダマダ地方ニ於キマシテハ特殊ノ名譽ト云フコトハ非常ナ一ツノ獎勵ニナルヤウニ思ヒマス、何カサウ云フヤウナ御考ヘモアリマスデセウカ、是非是等ノ點ハ今日益々自治ノ發展ヲ促シマス上カラモ多少考ヘネバナラヌコトカト思ハレルノデアリマス、序デナガラ伺ヒタイ

○政府委員(俵孫一君) 御尋ノコトニ付キマシテハ御承知ノ通りニ此自治功勞者ニ藍綬褒章ヲ與ヘルト云フコトニハナッテ居リマスガ、今御尋ノ御趣意ノ特ニ地方自治行政ニ多年勤績シタカラト云フ、若クハ勤績シタ功勞アル者ダカラト云フノデ特殊ノ表彰ヲスルヤウナコトハ現在アリマセヌ、之ヲ作シテハドウカト云フ御尋ノ御趣旨デアリマスガ、目下其コトモ考ヘ持チマセヌガ、是ハ唯今丁度衆議院ノ意見ノ希望條件ノコトモ申上ゲタコト、共ニ、何トカ此地方ノ市町村公吏員ノ多年ノ勤勞功績ニ對シテハ、表彰スル方法ガ只單ニ叙位叙勳ト申ス以外ニ何カアツテ欲シイト私ハ思ヒテ居リマス、是ハ特ニ御意見ヲ合セテ能ク研究イタシテ見ルコトニ致シタイト思ヒマス

○子爵東園基光君 地方ノ：：今度ノ改正ノ百六十七條等ニ舉テ居ル是ハ、其他ノ條項ニモ澤山現ハレテ居リマスガ、府縣ニ於キマシテ、手數料ヲ新設シ或ハ増額シ又ハ變更スル事、是ハ府縣デアリマスレバ内務大臣ノ許可ヲ受クベシト云フコトニナッテ居リマス、此手數料ト云フコトニ付イテ、手數料ハ所謂手數料デアリマスガ、府縣ハ動トモスルト其財源ヲ求ムル事ニ非常ニ急デアリマシテ、往々ニシテ事業ノ發展ヲ直接ニ妨ゲ或ハ間接ニモ妨ゲラレル虞ノアルヤウナ手數料ヲ設ケルト云フヤウナ嫌ガナイデモアリマセヌシ、又色々内務省ニ於カレテ財政ノ上カラ然ルベシト御考ニナリマシテモ、廣ク國ノ進展カラ：：各種方面ノ事業ノ進展カラ考ヘマスルト、政府トシテハ餘程斯ウ云フ點ナドハ御考慮ニナラナケレバナラヌデハナカラウカト思ヒマス、之ニ對シテ、中々標準ト云フモノモ難イコトデアリマセウト思ヒマスガ、府縣ガ漠然ト財源アリ負擔力アリト云フヤウナ理由ヲ以

テ、租稅トシテハムツカシイ、寄附金ハイカズ、先ヅ手數料ニ依ル或ハ使用料ニ依ル：：言ヒ換ヘマストマア使用料、殊ニ又手數料ヨリモ府縣其他團體ノ使用料ト云フモノハ、隨分サウ云フ名ニ依ルノガ多イヤウデゴザイマスガ、斯ウ云フコトニ付イテハ、内務省デドウ云フ風ニ御取計ヒニナッテ居リマセウカ、殊ニ先年來展、問題ニナッテ居リマスノハ水力電氣ニ關スル河川使用料デアリマスガ、是等ニ付キマシテハ、内務省トシテハ御差支モナイヤウナ御話デアリマスルガ、齊シク同ジ政府デアアル遞信省アタリカラ考ヘマシテ、事業ノ進展上即チ殊ニ我國ノ如キ未ダ進ミマセヌ地方ニ於キマシテハ、餘程之ヲ考ヘナケレバナラヌコトデ、固ヨリ金額等ニ付イテモ色々ナ限度ヲ御示シニナッテ、非常ニ御考慮ニナッテ居ルト云フコトハ重々御推察出來マスノデアリマスガ、段々將來財源ニ窮シテ參リマスト色々ナコトニ付テノ使用料：：先刻手數料ト申シマシタノハ使用料ト云フ意味デアリマスガ、サウ云フヤウナ方面ニ付イテハ餘程無理ガ段々出來テ來ヤシナイカト云フコトヲ虞レルノデ、此點ニ付イテノ御監督ノ具合等ノ御考ヲ承ハルコトヲ得マスレバ大變仕合デアリマス

○政府委員(俵孫一君) 御尤デゴザイマス、現ニ今御指摘ノコトガ府縣ニ依ッテ段段アリマス、手數料乃至使用料ニ付イテ、其事業其モノ、發展ト相衝突スルガ如キコトガアリマス、御指摘ノ此電氣ノ電信柱ニ付テノ課稅トカ、使用料トカ言フタ如キノコトデアリマスガ、是ハ御案内ノ通りニ手數料ハ從來此郡長ノ許可ヲ要スル事項ニナッテ居リタモノヲ、今回府縣知事ノ許可ヲ要スルコトニ、詰リ是ハ郡役所ガ廢止セラレマシタ結果デアリマスガ、サウ引上ゲタ

譯デアリマス、此手數料使用料ニ付イテハ、許可ガ郡長デアリ又知事デアリマシテモデスガ、其標準等ニ付イテハ内務省カラ指示シテ、即チ通牒シテアルノデアリマシテ、其基準スル所ハ其通牒ニ基イテ之ヲ許可スルコトニ相成ッテ居リマス、是ハ段々今御話ノ如キヤウナ弊ハアリマスノデスカラ、尙ホ今後モ十分之二付イテハ監督ヲ致シマシテ其仕事ノ發達ヲ妨ゲザルヤウニ十分ニ監督スル積リデアリマス、併シ是ハ由來、丁度御話ノ如ク一方ニ段々經費ガ嵩ム、從テ財源ニ窮スル、其方ノ側カラ申シマスト云フト、其仕事ノ狀況如何ニ拘ラズ多額ノ使用料ヲ取ル手數料ヲ取ルト云フコトガ起ルノデアリマス、是ハ内務省ヨリシテ其關係ヲ嚴密ニ考ヘテ十分ナル監督ヲセナケレバナラヌコト、思ッテ居リマス、御趣意ノアル所ハ拜承イタシマシタ

○委員長(阪本彰之助君) ソレデハ初メテノ日デゴザイマスカラ、此邊ノ程度デ：：〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(阪本彰之助君) 宜シウゴザイマスカ、ソレデハ今日ハ散會ヲ致シマス、明日ハ御都合ガゴザイマセウカ、午後一時カラ開キタイト思ヒマス

午後三時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長	阪本彰之助君
副委員長	子爵東園 基光君
委員	伯爵一荒 芳德君
	嘉納治五郎君
	小野塚喜平次君
	男爵藤村 義朗君
	絲原武太郎君

政府委員

內務政務次官	依 孫一君
內務書記官	田中廣太郎君

大正十五年三月三十日印刷

大正十五年三月三十一日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局